夢と志を育てる学園

TAMATE YAMA

玉手山学園広報

巻頭 理事長挨拶

学生 生徒 園児 たちの
「夢と志」を育てる

2022
新年号
vol.
98

80th
Tamateyama 2022
Dreams & Wills

2022年、玉手山学園は
創立80周年を迎えます

関西福祉科学大学

関西女子短期大学

関西福祉科学大学高等学校

関西女子短期大学附属幼稚園

DREAMS & WILLS

恩感

建学の精神「感恩」

人は　さまざまな恩恵のもとで　生かされている
この真理に目覚め　感動 感謝から生まれる　豊かな心と情熱をもって
人の幸せを願い　行動するとき　私たちは成長し　社会に貢献できる

～「ありがとう」に出会い　気づき　感動 感謝の行動から
新しい「ありがとう」が生まれる～

謹賀新年 令和4年の

私たちは次のような学園をめざしています

玉手山学園ブランド(価値・評価)

ありがとう を大切にする　建学の精神「感恩」
「夢と志」(*Dreams & Wills*) を育てる
その豊かな心を 形にし 行動する
できる方法を考える やってみる チャレンジする
元気 やる気で 夢中になる
笑い あいさつし 優しく接する

学園ブランドは学園経営理念の主旨・発信版
(こんな学園をめざす こんな教育をして こんな人を育てる)

謹賀新年

夢と志　豊かな心を　形に行動に　*Dreams & Wills*を語る

令和4年 寅(トラ)年 2022年が豊かな一年になりますように。
学園のみなさま(学生 生徒 園児 教職員)、一人ひとりに夢と志があります。
形にし行動して歩んでいきましょう。
「夢と志?」と感じる方は夢中になるもの(大小や形や色などは不問)に出会えることを祈念します。
Dreams & Wills を語りワクワクするところ、それが学園です。

学生 生徒 園児 たちの「夢と志」を育てる それが玉手山学園の夢と志

玉手山学園 関西福祉科学大学 関西女子短期大学 関西福祉科学大学高等学校 関西女子短期大学附属幼稚園 に
入ってよかった、卒業してよかった。そう実感してもらえることが学園の喜びです。

「いい出会いと豊かな成長」を願い 玉手山学園を選んでほしい

「いい仲間(学生 生徒 園児)、いい先生と出会えて、何かに夢中になって面白く過ごし豊かに成長。」
この理由で玉手山学園が選ばれるようになることをめざし続けます。
(施設・設備で他学園と過剰に競い合おうとは考えていません)
玉手山学園でみなさんがどのように過ごして、どう豊かに成長できるかを一番大切にしていきます。

玉手山学園ブランドを教職員が実践していく!

そのために玉手山学園の教職員は、学園ブランドを実践していくことが重要です。
(学園ブランドの基本姿勢で教育活動にあたる)

夢と志　(Dreams and Wills)

学園80周年 TAMA FAN FUN! ～みんなでたのしもう～　2022年のチャレンジ

今年は玉手山学園創立80周年です。色々な楽しいプログラムが考えられています。

80th Tamateyama 2022 Dreams & Wills

・学生 生徒 園児が主役　教職員は見守る(必要な時は支援)
・プログラムの企画 準備 実践は “やりたい人” がやる(学生・生徒 大歓迎)
・失敗を恐れずチャレンジ(失敗してもいい)　学園(教職員組織)が守る
・若者(学生 生徒 園児)がやりたいことを(教職員は)尊重する　(発想 エネルギーを萎ませない)

まさに玉手山学園のチャレンジ、学園ブランドの実践です。

(80周年やけど なんかオモロイことせーへんか? せやな やろやろ! そんなノリの学園でありたいと思います)

コロナ対応の協力に感謝　おかげで対面授業継続

令和3年度も学園構成員の皆さんが、コロナ予防のルール・マナーを守り、
色々なコロナ制限受容の“おかげ”で、教育遂行(対面授業)ができました。
クラスターも発生せず誹謗中傷もありませんでした。学園のみなさんを誇りに思います。
令和4年度も*All*玉手山で豊かな学園生活を実現させましょう。

令和4年(2022年)をどう過ごす

“夢は逃げない 逃げるのはいつも自分”　さあ「夢と志」を育てよう!

2021.10.28 たそがれコンサート
高校吹奏楽部 コロナを吹き飛ばせ!
元気をもらう

2021.11.08 Kanjo技能オリンピック
保育学科予選　最高の脳トレ(いい刺激)
いい保育士になるぞ!!

2021.7 弾ける笑顔 エネルギー
形にして行動にする

2021.10.10 Kanjo幼 運動会リレー
頑張って走る　とてもいいこと

2021.11.24 第3回 避難所運営演習　Do夢
自信も経験もなし だけど まさかの時は “やる”

建学の精神「感恩」

理事長・学園長　**江端 源治**

オンライン美葉祭を終えて

大学祭実行委員会 委員長　長嶺 鈴(心理科学科2年)

昨年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、美葉祭開催の中止を余儀なくされました。未だ感染症により制限された生活が続きますが、少しでも笑顔が咲きほこるようにと願いを込めて〈笑顔満祭〉というテーマを掲げ、舞台を“オンライン”という場に変更することで、2年ぶりに美葉祭を開催することができました。オンライン美葉祭開催につきまして、ご協力いただきました多くの関係者のみなさまにこの場を借りて深くお礼申し上げます。

今年度当初は、来場型の美葉祭を開催する予定で準備を進めていましたが、感染拡大が収まらず急遽オンラインでの開催に変更することとなりました。オンラインでの開催という初めての挑戦は、ゼロから創り上げるものばかりで手探りの状態で進んでいきました。私たち大学祭実行委員会の中でも大学祭開催の可否について意見が割れ衝突することも多々ありました。しかし、クラブ・サークルやゼミなどのたくさんの団体の方々から、「オンラインに変更しても美葉祭を開催してほしい！」というお声をいただき、それが私たちの支えとなり、またモチベーションとなり、オンラインの美葉祭を創り上げることができました。

オンライン美葉祭では、来場型とは違い美葉祭当日に本学のキャンパス内にご来場いただくことはできませんでしたが、オンラインという環境の中で、私たち学生の日々の活動や、新しい取り組み、学生生活の1ページ等を動画や写真、イラストといった様々な表現方法で、多くの方々に発信することができました。クラブ・サークル団体の方々には、ステージ上でのパフォーマンスを披露いただき、ゼミや学生有志団体等の方々には、活動紹介や研究発表、おもしろ動画などを作成いただきました。また、学生教職員を対象に募集した各種コンテスト（フォト・仮装・動画）では、たくさんのご応募をいただき、投票も含めてお楽しみいただけたかと思います。参加いただいた団体のみなさまからも「コロナ禍で活動に制限がかかった中でも多くの人に活動を見てもらうことができてとても嬉しかった！」などのお声をいただくこともできました。

オンラインでの良さ、来場型での良さ、どちらの良さもある中で、今年度の大学祭のような新しい取り組みが、参加いただいた団体のみなさまにとっても、ご視聴いただいたみなさまにとっても笑顔溢れる時間となっていれば幸いです。

福祉栄養学科
醸造プラントでワイン造りに挑戦

福祉栄養学科　大迫 雅人

関西福祉科学大学が位置する大阪府柏原市はブドウの一大産地であり、ブドウの栽培とともにワイン作りについて古い歴史があります。福祉栄養学科では、全国初となる管理栄養士養成施設でのワイン醸造に挑戦し、学生一人ひとりの夢や志を醸成する新たな教育体制を構築しました。

今年度の春学期には安達ゼミと大迫ゼミの3・4年生が「研究演習」で柏原産デラウェアを用いて白ワイン醸造を行い、ぶどう収穫最盛期の夏休み期間中には、福祉栄養学科の有志の学生による柏原産マスカット・ベリーAという品種を使用した赤ワイン醸造も行いました。このような学生主体のいきいきした学びが、社会貢献や地域貢献に発展することをめざしています。

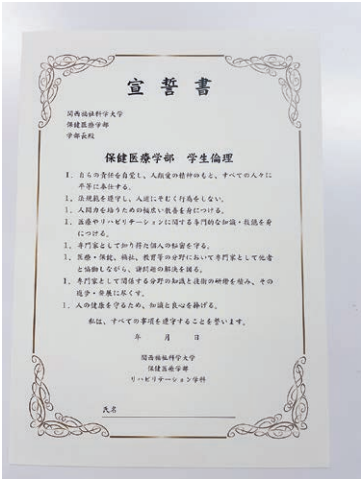
保健医療学部 白衣式

リハビリテーション学科　重森 健太

医療人が持ち続けなければいけない概念の一つに、プロフェッショナリズムがあります。プロフェッショナリズムとは、生涯学習を継続するモチベーション、ヒューマニズム、倫理観、利他主義、チーム医療などすべてが含まれる概念です。このプロフェッショナリズムを、臨床実習が始まる前に意識してもらうため、保健医療学部では毎年2年生の段階で白衣式を実施しています。白衣式では、保健医療学部長、各専攻長からの訓示だけでなく、学生代表が宣誓書に従って宣誓し、その後全学生が宣誓書に署名をします。この白衣式を通して、患者さんに対して持つべき慈愛の心を深く意識し、医療人としての責任を心に刻んでくれることを心より期待しています。

学部長訓示

学生代表宣誓



宣　誓　書

関西福祉科学大学
保健医療学部
学部長殿

保健医療学部　学生倫理

1. 自己の責任を自覚し、人間愛の精神のもと、すべての人々に平等に奉仕する。
1. 法規範を遵守し、人道にそむく行為をしない。
1. 人間力を高うための幅広い教養を身につける。
1. 医療やリハビリテーションに関する専門的全知識・技能を身につける。
1. 専門家としてかり得た個人の秘密を守る。
1. 医療・保健、福祉、教育等の分野において専門家として他者と協働しながら、諸問題の解決を図る。
1. 専門家として関係する分野の知識と技術の研鑽を積み、その進歩・発展に尽くす。
1. 人の健康を守るため、知識と良心を捧げる。

私は、すべての事項を遵守することを誓います。

年　月　日

関西福祉科学大学
保健医療学部
リハビリテーション学科

氏名

宣誓書

第12回 関女技能オリンピック

11月27日（土）、第12回関女技能オリンピック表彰式が開催されました。このオリンピックは、各学科の専門職に特化した技術を競い合う技能大会で、技術の向上と自己研鑽を目的として実施しています。

表彰式では、10月から11月にかけて各学科で行われた予選・本選にて優秀な成績を収めた学生・ゼミが表彰されるとともに、金賞受賞者による素晴らしい実演が披露されました。

保育学科

テーマは「保育現場における安全対策を幼児にわかりやすく伝える」。福間ゼミによる～劇（5歳児対象）「火に気をつけて、ドラゴンくん」～が披露されました。

歯科衛生学科

「口腔機能の低下予防に役立つ体操を実施する」のテーマのもと、誤嚥を防ぐための代表的な訓練方法の一つで、口・舌を鍛えることで食べる・飲み込む機能の向上を目的としたパタカラ体操の実演がありました。

養護保健学科

テーマは「三角巾と包帯による患部の固定と保護」。学生の実演と共に、それらの解説が行われました。

医療秘書学科

テーマを「オコジョシはクレーム対応もエレガンス！！」とし、患者さんへの適切な応対が実演されました。

笑顔いっぱいの“ほいく・あーと・ふぇすた”

短大 保育学科　宇津木 七実

11月23日（火・祝）に保育学科の行事“ほいく・あーと・ふぇすた”を開催しました。昨年はコロナ禍で中止となりましたが、今年は学園内のみへのご案内、時間制限や入場者数制限、マスク着用、消毒等の様々な新型コロナウイルス感染拡大防止対策を行い、実現することができました。

“子どものためのアートワークショップ”スタッフとして参加した1年生は、行事準備の大変さや初めての乳幼児期の子どもとの関わりに、戸惑うことも多かったようです。しかし、子どもたちの一生懸命な姿にふれ、保護者の方々から「ありがとう」の言葉をもらい、精一杯の笑顔で対応し、喜びや充実感を味わっていたようです。会場のあちらこちらで、“あーと”を楽しむ笑顔が溢れていました。

学生（1、2年生）の作品は、11月26日（金）まで保育実習室で展示しました。学園内の教職員の方々に鑑賞していただき、学生への温かいメッセージをいただくことができました。

ワクワク楽しい作品展

幼稚園 井内 茜

11月23日（火・祝）、幼稚園で作品展が行われました。作品展を迎えるまで、子どもたちは、毎日「何を作ろうかな？」と考え、「これ使ってみよう」と材料選びから始めました。それぞれに思っていることを絵や作品で表現し、全身絵の具だらけになりながら楽しみました。時には材料が上手く着かず、「あれ？」「難しい」と言いながらも、接着できる方法を考えたり、時には近くの友だちに手伝ってもらったりして、「ここ持っててあげる」や「こっちやったらくっつくで」と、声をかけあいながら頑張りました。

作品や絵が出来上がると「先生！出来たー」と、とっても満足げな表情と自信いっぱいの声で話を聞かせてくれます。クラスみんなの絵や作品が順番に部屋に展示されると、子どもたちは「すごーい」「隣のお部屋も見てみよう」と友だちの絵や作品にも興味津々でした。

作品展当日は、保育室に入るなり「見て！こんなん作ってん」「ここが難しかってん」と作品の話や、作っている時の思いを自信いっぱい話していました。お家の方に「上手にできたね」「凄いやん」とたくさん褒めてもらい、照れくさそうにしながらも、嬉しくて笑顔いっぱいの子どもたちでした。

今回の作品展を通じてまた一つ大きくなった子どもたち。今後も子どもたちの伸び伸びした表現力や楽しい想像力、それぞれの思いに寄り添い、日々の保育に努めていきたいと思います。

頼りになる大学生のお姉さん、いつもありがとう！

幼稚園では、大学の教育学部の学生さんに、授業の空き時間を利用して、教員の補助をお願いしています。学生さんたちは、授業で学んだことを活かしながら、積極的に子どもたちに接してくれています。そんな子どもたちが大好きな“未来の先生”をご紹介します。

関西福祉科学大学教育学部　石田 由紀乃

6月から附属幼稚園でアルバイトとして働かせていただいています。預かり保育、普段の幼稚園での生活の中で、子どもに必要な援助などをしています。4月から、保育関係の仕事に就くことが決まっており、保育現場を知り、子どもと少しでもたくさん接することで、自分の学びにもつながると考えています。子どもと一緒に遊び関わる中で、実習生の時とは違った気づきがあり、とても勉強になっています。行事を通しての子どもの成長を近くで見ることができ、楽しく働いています。

関西福祉科学大学教育学部　山中 真央

学生アルバイトとして乳児棟に行かせてもらい、0, 1, 2歳児と関わることが多いです。子どもたちと過ごす中で、子どもの表情や視線、喃語や体を使って表現してくれていることを読み取り、上手にコミュニケーションをとれるように努めています。できたことに対して全力で褒めたり一緒に喜んだりして、子どもの日々の成長に気付くことの大切さを学んでいます。保育者の言葉がけやスキンシップの取り方などを見て、私も実践できるように心掛けています。

関西福祉科学大学教育学部　河田 結華

学生アルバイトとして運動会に参加しました。コロナ禍のため、3歳・4歳・5歳に分かれて運動会を行いました。私は練習段階から参加し、練習の時にはダンスができなかった子どもが一生懸命踊っていたり、フォーメーションが綺麗に完成されていたり、日々練習してきた成果を見ることができて、とても感動しました。かけっこをする時も年齢別に見ていくことで、年長組は年少組と違いしっかり腕を振って走っている姿に成長を感じました。

関西福祉科学大学教育学部　岸本 晴日

学生アルバイトとして、みかん狩りや芋掘りを経験しました。子どもが一生懸命収穫する姿はとても可愛かったです。芋掘りは、子どもが自分自身で掘れるように掘りやすくしたり、虫を見つけたりして、一緒に楽しみました。みかん狩りは、山の上まで歩くのは私自身も大変でしたが、子どもと一緒に美味しそうなみかんを見つけて食べるのはとても楽しく、秋の季節を感じることができました。行事を経験させてもらったり、毎日の生活に携わらせてもらったりするなど、将来に繋がるいい経験をさせてもらっています。

どんぐりがいっぱい!!

幼稚園 稲垣 晃子

11月5日（金）、気持ちがいい晴天に恵まれ、園児たちが楽しみにしていた橿原神宮に遠足に行きました。「どんな電車に乗って遠足に行くのかなぁ」と、ワクワクしていた子どもたちの前に、水色のラインの「あおぞらII」が停車すると、子どもたちは大喜びで電車に乗り、橿原神宮へと出発しました。

橿原神宮では、美味しいお弁当をお腹いっぱい食べて、元気もりもりになった子どもたち。自分で作った大切な物を入れるカバンを肩にかけて、友だちと一緒にどんぐり拾いに出発です。「幼稚園のお山のどんぐりと形が違うね」「小さいどんぐりさん可愛い！」「帽子をかぶったどんぐりみっけ!!」と、口々に言いながら、カバンの中に拾い集めていました。「こんなにいっぱい!!見て！見て！」と、目をキラキラ輝かせながら保育者に見せに来てくれ、「お家に帰ったら、どんぐりのお土産あげるねん」と、お家の方へ渡すどんぐりのお土産を大事そうに抱えていました。また、自然いっぱいの中を友だちと思いっきり走り回り、楽しんでいる姿も見られました。きっとお家に帰ってから、楽しかったお話をたくさん聞かせてくれたことでしょうね。

帰り道は少し疲れた様子の子どもたちでしたが、青組はひよこ組やこすもす組の子どもたちと、手を繋いで駅まで歩いてくれました。歩幅を合わせて歩いている優しさと、年長組としての強さに成長を感じ、心温まる光景でした。帰りの電車の中では、疲れて眠ってしまったり、友だちと向かい合った席で楽しかったことをおしゃべりしたりと、ゆったりとした時間を過ごしました。

園児たちが橿原神宮への遠足で経験したことを大切に、感じたことや思ったことをこれからの力にしていってほしいと思います。とっても楽しい一日でした。

学園祭

高校 恒松 諒

今年度の学園祭のテーマは、「**笑顔の花を咲かせよう！～今年はNO密で濃密です～**」でした。代議委員会が中心となり全校生徒に公募し、生徒会役員による選考の結果、このテーマに決定しました。本校では文化祭と体育祭を合わせて学園祭とし、生徒会活動の中心に位置付けています。昨年度、新型コロナウイルスの影響により例年の文化祭や体育祭が中止となり、生徒の皆が思い出を刻む行事を実現することができませんでした。しかし今年度は、生徒会本部が中心となり、「中止ではなく、形を変えて実現を！」という思いで、各クラス・クラブともテーマに沿って出し物を決定し、企画書に基づいて準備を始めました。

今年度は飲食をともなう出し物は禁止として、クラスの生徒を［①店番　②展示見学・イベント参加　③舞台鑑賞］の3グループに分けて密をできる限り避ける方法を展開しながら実施することができました。

本祭では、アニメのキャラクターをモチーフとした巨大なモニュメントといった展示物や迷路・ストラックアウト・ジェットコースター等出し物が多数あり、どのクラスも工夫して取り組んでいました。舞台発表では、3クラスが大勢の観客の前で堂々としたパフォーマンスを披露してくれました。また、何よりもこの文化祭では演劇部・箏曲部・吹奏楽部・ダンスバトン部・茶道部・ハンドメイド部・書道部・写真部・美術、漫画研究部・放送部といったクラブの日ごろの成果を披露することができ、とても充実した文化祭となりました。

学園祭の締めくくりは体育祭でした。体育祭も日をまたいで学年別で行い、例年とは違う種目で対応するなど工夫を凝らしながら実施することができました。各学年の応援団や保育進学コースのダンスなどを披露し、練習の成果を大いに発揮することができました。本校の伝統である3年生男子によるマスゲーム、女子の創作ダンス共に、生徒と教員が話し合い創り出した見事な演技を見せてくれました。

新型コロナウイルス対策を必須とする厳しい状況下でも、例年とは形は違いますが、様々な人たちの支えや協力があり実施することができました。私たち教職員や生徒たちも様々な事に感謝して、これからも日々を大切に過ごしていければと思います。

服のチカラプロジェクト

高校 山口 翔大

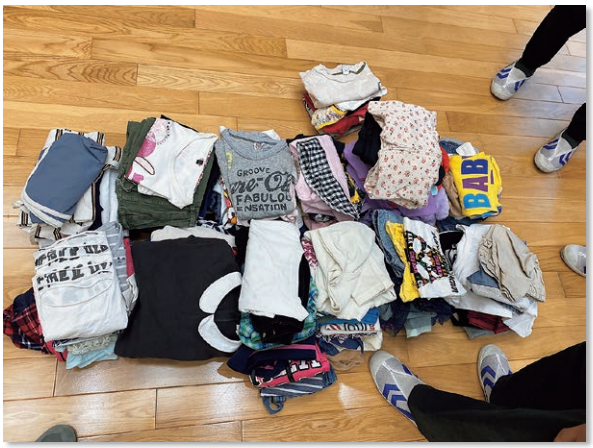
今年度、高等学校では生徒会を中心に「服のチカラプロジェクト」という新しい取り組みをおこないました。「服のチカラプロジェクト」とは、ユニクロが取り組む、小・中・高校生が対象の参加型学習プログラムです。講師による出張授業を受けたのち、子どもたちが主体となって、校内や地域で着なくなった子ども服を回収し、難民など服を必要とする人々に届けるプロジェクトです。

7月に講師の方に来ていただき、世界における難民情勢やプロジェクトの意図を伝える講習会を実施しました。その後、生徒会のメンバーより全校生徒に向けてプロジェクトの紹介をおこない、実働メンバーを募集しました。そして、募集により集まったメンバーを中心に夏休みを利用して、1着でも多くの子ども服を集めるために計画を立てていきました。

まずは服を必要としている人たちのことを知ることから始めました。生徒たちは難民と言われる人々の現状を学び、どれだけの人が服を必要としているのかを知り、必死に服を集めたいという気持ちになってくれました。9月の文化祭期間に回収することを決め、それまでに何ができるのかを考えました。例えば、講習で学んだことをZOOMで全校生徒に配信し、理解をしてもらったうえで呼びかけをおこないました。また、ポスターを作成し、校内の掲示板に掲示するなどしました。そして、回収日には多くの生徒や先生方が服を持って来てくれ、用意した段ボール箱がいっぱいになるほど集まり、合計615着もの子ども服が集まりました。後日、プロジェクトメンバーで梱包作業をおこないました。

たくさんの人が協力してくださったおかげで、初めての試みでしたが、プロジェクトを成功させることができました。このプロジェクトを通して、全校生徒が難民の現状を知り、「困っている人を助けたい」という気持ちをもつことができました。また、SDGsの様々な取り組みについて関心をもち、これからも積極的に活動していく第一歩になったのではないかと思います。

このプロジェクトに関わっていただいた方々、そして服を提供していただいた方々に心より感謝申し上げます。今後もこのような活動に全力で取り組んでいきたいと思います。本当にありがとうございました。



令和3年度 クラブ活動報告

8月から11月までのクラブ活動のおもな結果を報告させていただきます。

なぎなた部

第76回大阪高等学校総合体育大会 なぎなた競技会（8月）

団体の部　第2位
個人の部　優勝、第2位
演技の部　第3位

第34回近畿高等学校なぎなた選手権大会 大阪府予選会（11月）

団体の部　第2位
個人の部　第5位（2名）
演技の部　第5位（2組）

※上記の結果により、
第34回近畿高等学校なぎなた選手権大会（2月 兵庫）に
団体の部が出場決定。

バドミントン部

第76回大阪高等学校総合体育大会（8月）

学校対抗の部　女子　第3位
　　男子　第3位
ダブルスの部　女子　準優勝、第3位
　　男子　準優勝

第67回大阪私立高等学校総合体育大会 バドミントン競技の部（8月）

学校対抗の部　女子　第3位
　　男子　準優勝

第68回近畿高等学校バドミントン選手権大会 大阪府予選会（10月）

ダブルスの部　女子　第5位
　　男子　第9位
シングルスの部　女子　第5位、第9位
　　男子　第5位

※上記の結果により、近畿大会（11月 和歌山）に
女子2名、男子3名が出場決定。

第50回全国高等学校選抜バドミントン大会 大阪府予選会（10月）

学校対抗の部　女子　第3位
　　男子　第3位

※上記の結果により、
近畿高等学校団体戦大会（12月）に出場決定。

演劇部

第42回大阪府高等学校芸術文化祭・演劇部門　兼 第71回大阪府高等学校演劇研究大会 H地区大会（11月）

個人演技賞（1名）

ハンドボール部

第31回近畿私立高等学校 男子ハンドボール大会（12月　奈良・和歌山）に出場決定

日本拳法部

第66回全国高等学校日本拳法選手権大会（8月 和歌山）

男子団体競技　第3位
女子団体競技　準優勝
男子個人競技　優勝、第5位
女子個人競技　優勝、第3位

第76回大阪高等学校総合体育大会日本拳法競技会（9月）

女子団体競技　第3位
男子個人競技　優勝、第3位、第5位
女子個人競技　第5位（2名）

第26回西日本高等学校日本拳法選手権大会（10月 大阪）

男子団体競技　優勝
女子団体競技　準優勝

バレーボール部

第76回大阪高等学校総合体育大会　兼 第74回全日本高校選手権大会（10月）

大阪地区決勝ラウンド　大阪府ベスト16

大阪高校新人大会（11月）

一次予選　2部優勝により、1部昇格

卓球部

第68回大阪私学総合体育大会卓球の部（11月）

女子の部　学校対抗　準優勝

第74回大阪高等学校新人卓球大会（11月）

女子ダブルスの部　優勝

※上記の結果により、
第36回近畿高等学校新人卓球大会（12月 滋賀）に出場決定。

男子テニス部

第76回大阪高等学校総合体育大会 テニス大会

シングルスの部　予選ブロック　優勝
ダブルスの部　予選ブロック　優勝

陸上部

第76回大阪高等学校総合体育大会（8月）

男子　800m　6位、　女子　走り幅跳び　7位

大阪高等学校夏季陸上競技大会（8月）

男子　200m　4位

大阪高等学校秋季陸上競技大会（10月）

※この大会の結果により、男子　800m（2名）、1500m（1名）が
来年度開催の阪奈和大会に出場決定。

美術部

第70回大阪私学美術展（10月）

優秀賞（1名）、奨励賞（1名）

避難所運営演習

地域連携センター　中井 松時

令和3年11月24日（水）に避難所運営演習を実施しました。令和元年から始めた本学園と柏原市の共催による学園総合体育館“Do夢”での避難所運営演習の開催も3回目となりました。

本学園は大地震や洪水、大規模火災などの災害時には地域の方々の「指定避難所」として使用することになっており、災害発生時は学生・生徒・園児の安全確保と共に、全ての避難所利用者の安全確保・支援が求められています。

昨年度と同様にコロナウイルス等の感染症の脅威が無くならない中ではありますが、災害はいつやってくるのかわからず、常に準備しておく必要があることから、感染症対策を万全にして開催させていただく運びとなりました。

「避難所運営マニュアル」・「避難所における備蓄物資や資機材について」・「避難者の応急手当」など座学中心に広範囲にわたって演習を行い、また令和3年10月3日夕方、和歌山市の紀の川にかかる水道橋「六十谷水管橋」の一部が崩落し、大規模な断水が発生した際に、柏原市は、日本水道協会の派遣要請を受け、和歌山市内の小学校で応急給水支援活動に携わってこられました。その際に支援に出た給水車の展示もしていただきました。

人数制限をさせていただいた中で、学園教職員・学生・生徒、柏原市からは冨宅市長はじめ市職員、市議会議員、近隣の区長様など総数125名の方々にご参加いただきました。

今回ご参加いただいたみなさまには、今後起こりうる大規模災害に対する備えの重要性について再認識していただくきっかけになったことと思います。

9～11月
ご投稿分

Tamaしか勝たん

Instagram

「学園でのベストショット！」ご投稿ありがとうございます

法人本部 総務部　松井 愛

銀杏星人さん

「立教館まで出発進行！」
FOPインスタグラム班さん

「お気に入りの場所…みいつけた★」
学園大好きmamaさん

「4年生の皆さんお疲れさまでした」
FOPインスタグラム班さん

スイポテマニア🍯🧸さん
#TamaCafé

「地域住民と学生のコラボ演奏」
FOPインスタグラム班さん

学園広報では、学園に関わる皆さまの
日々の素敵なワンシーン投稿を随時募集いたします！
掲載当選者の最大10名には、景品贈呈！

どんな方からのご投稿も大歓迎！ お待ちしております！

【応募方法】

写真に「Webクラブ(@fukkanjokoho)」をタグ付けして投稿!
良ければ 一言コメントもつけてください♪
※個人が特定できる写真は、本人の許可が必要です。
Instagramアカウントをお持ちでない方は
直接担当までご応募ください。
（担当：松井/matsui@tamateyama.ac.jp）

【写真の選定・掲載について】

Webクラブへのタグ付けから、お写真を拝見し、
担当よりご連絡させていただきます!
許可いただいたお写真は次号の学園広報に掲載!お楽しみに♪

Like

#follow me

福祉大・関女 WEBクラブ followme!!

Instagram
@fukkanjokoho

学校法人玉手山学園 経営理念

令和3年11月26日
理事会承認

建学の精神「感 恩」

人は　さまざまな恩恵のもとで　生かされている
この真理に目覚め　感動 感謝から生まれる　豊かな心と情熱をもって
人の幸せを願い　行動するとき　私たちは成長し　社会に貢献できる
～「ありがとう」に出会い　気づき　感動 感謝の行動から
新しい「ありがとう」が生まれる～

使　命

建学の精神「感恩」を実践する人を育成し　豊かな未来社会をつくる

綱　領

1.学生 生徒 園児のもてる力 志をひきだす
その教育実践により　職員も豊かになる

2.教育人として　自己の能力 人格の向上に努め　その使命を誠実に遂行し
未来を拓く「知・志」を継承 創造する

3.各校園は　教育理念のもと　具体的な教育目標を掲げ
職員は　常に改革(できる)の意識とスピード感をもって
創意工夫 試行を重ね その達成に総力を結集する

4.職員育成(強い組織)に努め 健全な財政基盤を確立し 学園の継続 発展を創り出す

ビジョン

経営理念"学園ブランド"の実践　*For the students*

1.夢と志(*Dreams and Wills*)を育てる　豊かな心を　形に行動に
～ありがとう 笑顔 あいさつ 優しさを大切に～

2.教育力の向上　学業成果(できるようになる)・修学成就

3.教育体制の充実
- 組織安定
- 4校園体制堅持(大学 短期大学 高等学校 認定こども園)
- 健全収支
- 教育環境(施設・設備等)の充実・愛用(安全安心 快適)

4.地域共生　社会に愛され 成長する学園

5.学園総合力の向上(学園ファミリー意識)
各校園(職員 学生 生徒 園児)の相互協力 尊重

本部

新型コロナワクチン職域接種

法人本部　浦城 均

本学園では、社会全体のワクチン接種率の向上への貢献、また学園内のコロナ耐性を強化し教育・研究活動や課外活動等を安全・安心に実施できる環境を整えることを目的に、新型コロナワクチン職域接種(大学拠点接種)を実施しました。

9月3日(金)～11月12日(金)、学園本館2階多目的ホールを主接種会場とし、本学学生・生徒、教職員及び家族、幼稚園保護者、柏原市教職員などを対象に、第1回及び第2回接種延べ1,955人への接種を行い、特段のトラブルもなく、無事に終了することができました。

学園内の医師・歯科医師・看護師をはじめ学園教職員のみなさま、また学園外からも快くご支援いただきましたみなさまに、心より御礼を申し上げます。

玉手山学園のチャレンジです！
記念事業案をご紹介します

玉手山学園は2022年（令和４年）に80周年を迎えます
そんなメモリアルな行事を楽しむことができるみなさま！
是非記念事業にご参加いただき、
Let's TAMA FAN FUN!　しましょう♬

※記念事業案は、内容変更等の可能性がございます。
ご理解いただきますようお願いいたします

記念事業の最新情報はこちらから
特設サイト　LINE公式アカウント
check it out!

あなたのアイデアが現実に…！

記念グッズ作成

Tシャツ、Dreams&Willsノート、LINEスタンプ、福袋…etc

動画編集・撮影に興味ある人
Come on！！！！

動画・SNSの活用

**CMコンテスト、リレー動画
ダンス動画、
おもしろい学生・教職員紹介etc**

柏原の学び舎

「立教館」

**古民家カフェ！？
近隣の子どもたちに
勉強を教える現代の私塾！？**

**教育・私学の原点である立教館
大阪府史跡にも指定されています
そんな場所で何か企画してみませんか？**

あなたの食べたいメニューが
メニュー化するかも！？！？

Tama Cafe 記念メニュー

**限定記念メニュー！？
限定価格！？
記念お弁当！？**

あなたも企画側に
まわってみませんか?

Tama脱出ゲーム 隠し場所探し

景品あり！？

**学園各所にヒントを隠し、
学園から脱出!**

写真好き集まれ！
とっておきの
1冊を作ろう！

記念写真集

**思い出写真展！？
フォトコンテスト！？**

優勝すれば
チームのユニフォームが作れる！？

ユニフォーム争奪!? 学園でスポーツ大会

**フットサル？
バレー？
バスケ？
ドッジボール？**

まつりだ！さあ、ナニスル！？
高校生も参加OK！！

大学祭×80周年 コラボ企画!!

**○○コンテスト、柏原市とコラボ？、
ホームカミングデー、似顔絵ブースetc…**

寄付金のこと、もっと知りたい！

80周年 記念寄付金（返礼品付）

THANKYOU

あなたならどんな遊びを考える？

遊びの天才を作ろう Tama遊び「キッズフェスタ」

**「キッズフェスタ(高校＆幼稚園)に
学生＆近隣園児コラボ！**

地元の方、WELCOME!!
どこを開放する！？

学園施設開放

**Do夢、グラウンド、
学園2号館etc
で花火鑑賞！？盆踊り！？**

Let's enjoy!!!

記念コンサート（地元の小中高生枠も）

学園の音楽系クラブ・有志によるコンサート

学園広報編集委員会

委員長　湯川 雅紀（大学教育学部）　古橋 正則（高等学校）　與原 真弓（法人本部）
委　員　横山 学　（大学事務局）　稲垣 晃子（幼稚園）　松井 愛　（法人本部）
辻村 匡志（大学事務局）　植田 陽　（法人本部）

玉手山学園広報 Vol.98　発行 学校法人 玉手山学園　〒582-0026 大阪府柏原市旭ヶ丘3丁目11番1号 TEL.(072)978-6661 FAX.(072)977-8587